
 記 事

例会記録

日本医史学会 3月例会 平成28年3月26日 (土)
 順天堂大学 10号館1階105カンファレンスルーム

1. 水島治夫の府県別生命表と旧植民地生命表、
 琉球政府生命表——『〈公刊前〉1921-25年分
 府県別生命表』をめぐる—— 逢見憲一
2. 池田流痘疹治療にみる唇舌図の考察

西巻明彦

日本医史学会 4月例会 平成28年4月23日 (土)
 順天堂大学 10号館1階105カンファレンスルーム

1. 時衆・遊行聖における病 新村 拓
2. 新刊『米沢藩医 堀内家文書——解題篇・図版
 篇——』から何が読みとれるか 片桐一男

日本医史学会 6月例会 平成28年6月25日 (土)
 順天堂大学 センチュリータワー3階306

1. 本居宣長の在京医学修業 吉川澄美
2. 運命の女神は気まぐれ：所郁太郎の事
 加藤茂孝

例会抄録

精神科医療の戦後70年

岡田 靖雄

2015年には多くの場で戦後70年がかたられた。NHK教育テレビのハートネットTVでは医療福祉関係の戦後70年をとりあげたようである。6月には「親と暮らせない子どもたち」, 「精神障害者の戦後」, 「ハンセン病の戦後」を, 施設での管理から地域で, という筋にそってとりあげた。6月3日に放映された「精神障害者の戦後70年 病院か地域か」は, 私宅監置中心の戦前——病院にいれろ, の時代——鍵のない病院 (開放制) の試み, 退院しても行き場のない患者のための付属住居——当事者の「私たちこそが声をあげる」, “ピアサポートの時代” 今, という筋になっている (30分)。わたしは歴史の語り手として2回顔をだしている。

ここで, 精神科医療の歴史の粗筋をたどってみ

よう。1875年 (明治8年) 京都癲狂院設立, 府立で, 病院として認定された最初の精神病院, しかし“収支あいつぐなわず”と1882年に廃院。1900年 (明治33年) 精神病者監護法ができて, 私宅監置が法制化され, 精神病院への入院も監置として (治療としてではなく) あつかわれる。それまで府県段階での規則などがあったが, それらが全国一本化されたのである。精神病床はごくわずかで, それも3府に極端に集中していた。入院患者数が私宅監置患者数を上まわるのは1929年 (昭和4年) である。戦前における精神病床数の最高は1940年 (昭和15年) の人口1万対3.29で, 当時ヨーロッパ, アメリカの先進国における精神病床数はこの10倍の水準にあった。1919年 (大正8年) に精神病院法が制定されて, 公立精神病